



## 第1日目 7月25日(木)

**12:10~12:30 開会 オリエンテーション**

司会 プログラム奉仕委員会 委員 小野浩子

**\* ガバナー挨拶**

日本西リジョンユースフォーラムの意義は、女子生徒があるひとつのテーマをめぐって議論を交わす中で、“成長していくこと”である。この2日間は、人生にとって有意義だったと思えるような時間を過ごして頂きたい。

男児は甲子園を目指し、汗を流してボールを交わす中、ここに集まった女子生徒には“言葉—重みを持った言葉”を交わして頂きたい。人生の中できりりとしたものを持つために発する言葉は、自分の心、全存在から出た言葉であり、全身全霊を込めて語られなければならない。そうすれば言葉は人の心に達する。2日間自分の心の中と正直に語り合いながら、言葉を紡いで頂きたい。

オブザーバーの方には、他クラブの生徒さんも観察して頂き、生徒が一生懸命言葉を紡ぐ様子を、貴重な経験としてお持ち帰りいただきたい。

**\* 審査委員長(コーディネーター)紹介**

吉備国際大学 社会福祉学科教授 高橋睦子様

**\* 理事会(審査員)紹介****\* 参加者紹介**

ユース 41名・実行委員 22名・SHS 及びユースフォーラム OG4名  
オブザーバー185名・事務局員 3名 合計 255名

**\* 日程説明と注意事項** ユースフォーラム実行委員長 近藤淑子

資料1 ページ参照

**12:30~14:30 プレゼンテーション****14:30~15:40 基調講演**

講師 吉備国際大学 社会福祉学科教授 高橋睦子氏

演題 「夢をかたちに—北欧の女性の歩みから見えてくること」

**16:10~17:40 グループ討論** ※記録:グループ担当委員会による**\* グループピンク**

記録:ソロプチミスト日本財団委員会

女子力とは何?~から討論が始まり、メンバー10人より、それぞれの意見が発表された。ユース達は母親の様になりたい、仕事も家事も両立させたい。又、男女区別無く、個人の価値観によって決めるべき等々、数多くの意見が交わされました。途中、湯崎広島県知事が育休を取られた話題に発展し、意見が交わされ、結果行き詰まり、沈黙~。その時ユースの一人が、突然見守り中の委員長に矛先を向け、意見を求められ、予想外の出来事に驚愕しました。

緊張の中にもフリートーキングの気楽さも加わり、終了時間を気にしながらの討論でした。<高橋睦子先生の基調講演について>

ユース達は、先生のお話に非常に勇気づけられ、心を揺さぶられたと感想を述べています。

## \* グループブルー

記録：環境/保健奉仕委員会

### 1)自己紹介

プレゼン順番待ちの為、グループ内の人の話が聞けなかった、とユースからの申し出により行った。

自分たちの状況説明(誰からともなく出た)と、とっさでもプレゼンの中の自分のアピールポイントを短くして紹介した。全員瞬時に対応していた。

簡単という事に関しても、全員がプレゼンでのポイントを話した。

### 2)女子力 UP の女子力とは何かについて意見交換

細やかな気配りを高める。

女性の特徴を活かしたものが女子力である。

差別かどうかの分別力、心配りが出来ること、等の意見が出た。

### 3)その女子力を高めるために何が出来るかについての意見交換

常に緊張感を持って正しい事は何か考えて生活する事。

自分を持つ事(常に人に親切、自分の目標を持つ)

分別する力を高めるには人から意見を聞く。

### 4)高橋先生の講演の感想

幼児期から大人まで学び続けられる環境が素晴らしい。

男性に頼らなくて生きていけることで、シングルマザーが、多くなり、社会として問題ではないか?

フィンランドの女性は、自立した考えを持っている人が多いと思った。社会進出が遅れている原因は、日本の女性の方にも問題があるのではないか?

消極的な女性が多いように思う。積極的に生きるためには、努力が必要で、結果に対し、自分に責任を持たなければ、ならない。

### 5)日本の女子力は、どうか?

女性は、自分の殻に閉じこもってはいは、ダメ

撫子的な面を守りつつ、プラスαで世界に羽ばたいて欲しい。

固定概念に捉われず、人間力を高め、男性と女性が互に尊重し、助け合い、補い合って共存していく事が大切だと考える。

主張する事は、大切だけれど、行動に繋がらなければ、意味がない。

### (総括)

ブルーグループは、全般的に終始活発な討論が行われていたように思う。

途中での的外れになろうとした時もあったが、司会進行が適切で、比較的スムーズに討論が行われた。男女共存の概念に其々共感を持った様子でした。

## \* グループグリーン

記録：財務/奉仕資金委員会

積極的に意見交換が出来ていた。進行役がいないほどだった。ユースが、討論の方向性を示唆していた。具体的な方法は?私達に出来ることは?

\*グループ討論では、平均5~6回の発言があり、活発に討論されていました。

\*学校生活を振り返りながら現実を話し自分に出来ることを考えていた人・人の意見をじっくり聞きながら自分の意見を話す人・具体的に考えてみようと思案し、リードする人・グループ発表に向けてグループをまとめようとする人・多方面から意見を出す人・今自分たちに出来ることを考えようと思案する人、など、進行役がいないほどグループの誰かが、具体的な方法は?自分たちに出来ることは?と方向性を示していたグループでした。下記のようなことが話されました。

### ①女性が夢をかなえにくい現状について

- ・女性が家事・育児をするという固定観念や慣習がある
- ・なぜ女が生徒会長をやるのと言われる
- ・男性が育児休暇を取らない

- ・女子高なので、生徒会長は女子で校歌には良妻賢母が歌われている等
- ②それを解決するためにはどうしたらよいか
  - ・まず、自分の意識を変えることから始める。固定観念は変えられる。
  - ・教育での意識改革が必要 小学校の道徳授業や保健の授業で取り上げる。
  - ・上の人が育児休暇をとったら皆が取りやすい。
  - ・女性も主張することが必要である。
- ③私たちに出来ること
  - ・学校で出来ることは、広報活動ができる。しかも継続した活動が必要。学校同士の話し合いもあると良い。
  - ・私たちの行動改革から始めよう。
  - ・SNS を使って現実を広報していこう。

## \*グループオレンジ

記録：規約決議/SOLT委員会

- ① 男女格差について
    - ・格差を気にせず勇気を出して後悔しないようやってみる。
    - ・お互い不利な点は補い合う。
    - ・体力は負けると思ったが案外本気になれば女子も力があり良く働く。
    - ・女性が機会を見つけ積極生、判断力を身につけ女子力をアップさせる。
  - ② 夢
    - ・自衛官、工科系の会社等、男社会なので不安だがチャレンジ精神で夢を実現したい。
    - ・小学校教師になり、子どもを信頼される人になれるよう導いてあげたい。
    - ・体育教師になり女子サッカー選手を育てたい。
  - ③ 不利を克服するには
    - ・女子も判断力を身につけ積極的に発言しリーダーシップを身につける。
    - ・むしろ男らしさ女らしさを出し両方が支え合う。  
女性だからこそ出来ることを生かす。
    - ・男性の援助(育児支援等)も必要。女子が進出しやすい社会を作る。
    - ・男女格差は固定観念としてあるので、個性を尊重し合う。
  - ④ まとめ(結婚、出産、育児)
    - ・出産しても男性の育児休暇等の制度を利用し、仕事を続けたい。
    - ・生物学的な男女差は割り切りお互いを補い、おもいあう世の中になればいい。
    - ・後悔のないように仕事を続けたい。自分から踏み出せば周囲も変わると思う。
    - ・仕事を続け、リーダーシップのとれる女性がふえるようにしたい。
- このようにグループ討論会ではデーマにそって、それぞれ意見を出し合うことができた。

### **18:20~20:15 夕食会**

司会 プログラム奉仕委員会 委員 谷本貴和子

\*挨拶 ガバナーエレクト 井上恭子

\*会食

\*お楽しみタイム SHS:倉橋奈津子・静間萌々子・寺元玲奈・渡邊佳恵  
SHS が準備してくれたゲームを行い得点を競い、上位者には景品を進呈  
オブザーバーにも景品を進呈

\*インフォメーション プログラム奉仕委員会委員長 窪田幸子  
25 日夕食会後の日程と 26 日の日程、および注意事項について

### **20:15~22:00 グループ研究**

原稿がまとまらなかったグループは、翌日の朝食前に提出

## 第2日目 7月26日(金)

### 8:25 全体会

日程を説明 プログラム奉仕委員会 委員 小野浩子

### 8:30~11:00 グループ発表 ※記録:グループ担当委員会による

\*グループピンク 記録:ソロプチミスト日本財団委員会

テーマ みんなちがって、みんないい!

前夜、委員長が求められた意見に対し、答えた言葉そのものが、テーマになっていたのには正直、驚かされました。事の善し悪しは別として、若い人達が発言をするだけでなく、世代の違うソロプチミストに意見を求めてきた事に対し、聞く耳を充分持っていることに、好感を覚えました。

総評

緊張感のなかにも、ほのぼのとした後味の良いフォーラムであったと思います。

SHSの方々、良く纏めて頂きました。

全ソロプチミストがこのフォーラムを体験し、感動を分かち合えればと思います。

お互いに初めて出会った生徒達とは思えない程、良い感じで纏まり、優劣が付け難く思いました。メンバー達の学校、環境、そして状況も違う、名前も知らない者同士、一つの目的の為に集い、和やかな中にも真剣に取り組み、語り合う姿には感動を覚えました。

### \*グループブルー

記録:環境/保健奉仕委員会

テーマ Live together 「男女が 共に生きる社会」

先ず、男女平等という言葉に疑問を持つ。男女其々の特性が生かされ全てのものが等しい事が男女平等ではないか、それは本当に実現可能なのか?職業に対して固定観念があり、自衛官は男性のイメージが強い職業。固定観念も育った環境が異なれば変わる。文化の違いにより、日本女性は清楚で控えめが好まれ、周りの目を気にして一歩が踏み切れない所がある。就職活動では求人にも男女の差別がある事を劇で表現。フィンランドでは男女の特性が生かされている。以上の経緯から男女平等に変わって「Live together」を提唱。男女が互いに特性を知り欠点を補い合って共存して生きていく事ができれば、女性が夢を生きることを実現が可能となり、女子力アップに繋がると考える。女子力とは、外見ではなく内面の豊かさ、人当たりの良さから生まれるボランティア精神、相手を互いに尊重しあい自然体として女性らしく生きることが根本になっている。次に二つの提案あり。一つは、男性にも男の仕事はこうあるべき、こうあらなければならないという固定観念があるので、このような同じような機会を持つ事。もう一つ、一期生の創ったSHSの更なるなる拡大をめざし、SHS+SG (super girl)を提案。これは女子高生特有の概念にとらわれない自由な意識をもったOGの参加によりより視野が広がる。今回のユースフォーラムを振り返り、同じ意識を持つ仲間意見を出し合う事の大切さ、意見を纏める事の大変さを実感した。さらに 会って一日にも満たない仲間と、一つの物を作り上げるために協力し合えた事こそ、正に私たちが求めていた女子力の結晶であると思った。この経験で得た女子力をこれからの生活に生かす。最後にソロプチミスト、ユースへのお礼の言葉が有り「Live together」を唱和し発表を終えた。

## \*グループグリーン

記録：財務/奉仕資金委員会

\*グループ討論の話し合いが、グループ発表へ繋がっていきました。発表の手法は、演劇部の人リードしてみたり、イラストの得意な人がスライドを作ったり、質問には丁寧に答え、グループ内で協力して補足しながら回答しており、全員が関わって出来た発表でした。

\*医務室行きが3名出ました。緊張・睡眠不足等のストレスの連鎖みたいでしたが、それをカバーしたグループでした。

テーマ「女子力～ジェンダーの壁を越えて～」

### 1. 問題定義

- ①女子力とは、女性が不利をこうむるジェンダーの壁を乗り越えること
- ②ジェンダー問題が男女の自由選択を阻む
- ③固定観念から性差別が生まれている

### 2. 具体的には

- ①女性のサポート制度を整える
- ②会社に託児所や女性用カウンセリングを置く

### 3. 女性の主張について

- ①強い意志を持って身近なところからアピールする
- ②上司に男性の場合が多いので、上司が見本を示す

### 4. 具体的に何が出来るか

- ①子どもへの教育が必要。テレビを通じての幼児教育や、イベントやSNSを活用する。
- ②皆で話し合うことが問題解決の第一歩。知らない人が知っていくことが大事。

今出来ることを今考えて話す。今でしょ！！

女子力 いつ使うの？今でしょ！！

## \*グループオレンジ

記録：規約決議/SOLT委員会

前日のグループ研究では時間内にまとまらず、和室に集まり再度議論し以下の様にまとめる。

### ◎「Action！～とりあえずやってみる～」

女子力(エンパワーメント)とは？そのエンパワーメントを生かしてどうするか？という視点から、小さなActionの積み重ねが自分を向上させるので、男女間の格差があっても積極的に前に出て「やらない後悔よりやって後悔するほうがよい、とりあえずやってみる」を発表。

また「女性が夢を生きる」には、女性が仕事を続けやすい環境作り、女性の積極性、女性自身の意識の改革が必要と結論づける。

10名の女子高校生が、2日間のグループ内でのハイレベルな討論、議論を通してこのように大きく立派に成長していくさまをライブで見ることが出来、感動しました。あの夜を徹して(26日)の研究会は、彼女たちにとって一生の宝物になるでしょう。

## 11:50~13:30 SHS発表・意見交換

\*今出来ること ~SHSプロジェクトとSHSの今後の活動について~

### <自己紹介>

倉橋奈津子(国際教養大学2年生)・静間萌々子(山口県立大津緑洋高等学校水産校舎3年生)

### <SHSについて>

前回ユースフォーラムのテーマ：21世紀国際社会における日本の役割とは何か  
立ち上げをグループ発表で発表

“H”：high school に深い意味がある：高校生だから今参加して欲しいプロジェクト

### <意見交換>

\*高校生の強みとは？

自由な発言が出来る、大人と子供の両方の立場で思考できる、アイデアが多い  
社会人になる直前、社会に意見反映しやすい

現実を知らない強み、自由な発想が出来る、固定観念をもたず、柔軟性がある

\*高校生って？(高校生の特徴)：SHSより提示——友達が好き、若い、勢いがある、  
高校生の好み分かる

\*大人と高校生の違いは？

経験に頼る大人、自由な発想が出来る高校生

結果が必要な大人、前向きであればよい高校生

経済力がある大人、生きる構造ができてない高校生

知識を得る機会が多い高校生

自由な選択が出来る大人、学校の規則がある高校生

### <再びSHSについて>

~高校生の良さ：高校生に何ができるか~

SNSを使っての意見交換が中心

高校生による高校生のためのプロジェクトが必要：高校生が一番良く自分達の好みを知っている。

高校生同士で情報をシェア、他の高校生が何を考えているか、高校生の間を考える

### <意見交換>

\*情報源はどこか？

ツイッター(ピックアップされたニュース)、インターネット

学校の先生や友達

テレビ、新聞、FB、本、ラジオ

\*情報発信：自ら情報発したことがあるか？

日常の会話で、FB、人権活動、新聞記事、生徒会決定事項をメール

情報の信憑性が問われるので、発信したことがない

\*皆にシェアしたい活動は？

愛護班の天然記念植物保護活動、“100円の力”(途上国では一回分の食事代)

国際フォーラム、献血運動、フェアトレード、地域セミナー

\*記事を書くとしたら？

黒人差別、憲法：男女の平等、きっかけは個人的でいい

### <SHSメンバーからのメッセージ>

皆の協力でやってこれた、好きなことなら頑張れた

何かを始めるきっかけを得られたこと

日本、世界の問題をより身近に考えられた

SHSメンバー募集

高校生だから出来ることを大切に

やりたいという気持ちが大切

自分のしていることに自信を持つ

## 13:30:~14:20 感想文

### 14:20~15:00 講評・表彰

司会 ユースフォーラム実行委員長 近藤淑子

#### \* 講評 審査委員長 高橋睦子氏

これほど周到な角度から審査時間をかけて、ていねいなプロセスを織り込んだユースフォーラムは初めて体験した。

1. 性別、年齢、出身、文化の違い、ハンディキャップのあるなしが人の評価をさげることなく平等とは何かを考えて頂きたい
2. 日本社会は女性や子供、若者を大切にしないといけない  
ソロプチミストがユースに力を入れて若い力を盛り立てて行くことは素晴らしい。
3. 過小評価をしない  
ひとりではない、希望を持って

#### \* 結果発表

#### \* 表彰

- |             |             |                  |  |
|-------------|-------------|------------------|--|
| ●グループ賞      | グループグリーン    |                  |  |
| ●SHS賞       | ピンク1 秋山 知宥  |                  |  |
| ●プレゼンテーション賞 | ブルー1 箱田 麻実  | グリーン6 鈴木 愛純      |  |
| ●論文賞        | ブルー7 河野 二葉  | ブルー11 ルードウィッグ 佳奈 |  |
| ●ガバナー賞      | グリーン4 尾瀨 千咲 |                  |  |
| ●審査員特別賞     | グリーン7 高橋 市佳 | オレンジ7 友末 真生      |  |

これからのユースに何が必要かという思いで選出

派手さはなく、場の雰囲気でも前に出られないが、キラリと光る強い意志を持っている。人として品格ある人になってもらいたい。これからの世界をリードして行って貰いたいという願いより。

#### \* ガバナー賞受賞者 謝辞 グリーン4 尾瀨 千咲

楽しい二日間、時間が早かった。同じ世代の人とあんなに熱い議論を交わしたのは初めて。このつながりを維持して私達の手で、日本、世界に貢献しましょう。

#### \* サプライズ賞

●Live Your Dream 賞:グループで特に輝いていた人へ

- |              |             |
|--------------|-------------|
| ピンク4 藤田 恵利花  | ブルー10 中島 碩美 |
| グリーン3 中村 みさと | オレンジ8 渡邊 尚子 |

### 15:00~15:15 閉会式

#### \* ガバナー挨拶

2日間あっという間の日程だったと思う。

ユースの皆さんは2日間かけて、自分の言葉で心の中を語る事が出来るようになった。痛みを伴うこともあったかもしれないけれど、乗り越えながらグループとしての結論へ達することができた。その過程で、痛みを伴った言葉を自分の声で発することにより、初めて相手の心に届けることが出来た。思い出として生涯忘れないでいて欲しい。

過大評価も過小評価もしないで等身大の自分が見える冷徹な目を持った女性になって頂きたい。ユースの皆さんは、まだ15-17歳、まだ言葉に血も肉も伴ってない。これからの人生でしっかりと血と肉をつけていてもらいたい。皆さんの人生、これからの勝負、頑張ってください。

#### \* 15:15 記念撮影後自由解散